



# かけはし

令和2年8月（第5号）

公益財団法人 豊島修練会

事務局：成美教育文化会館（内）

TEL:042-471-6600 FAX:042-471-6600

HP「成美教育文化会館」で検索】

どちらも大事！

## 「活字で学ぶ」と「デジタルで学ぶ」

コンピュータや人工知能などによる学習も大事ですが、デジタルだけに頼るだけでなく、活字による学びも必要です。デジタルと活字の両立なくしては、現在を充実させ将来に活躍できる子供は育たないということで、国は「活字の学びを考える懇談会」を、6月11日に発足したそうです。

主な委員として、皆さんお馴染みの作家の阿刀田高さん、浅田次郎さん、歌人の俵万智さん、建築家の安藤忠雄さんなどが参画しています。



VS



実は、ある研究所の所報に、次のことを提言したばかり（令和2年5月に執筆、9月に発行予定）なので、この懇談会の行く末に大きな期待を寄せています。

<手作り と ICT の両立を！>

タブレットなど ICT を活用する学習（授業）が奨励されている。一方で、対面で話す・聞く、活字の本を読む、紙やノートに思いや考えを書く、事典・図鑑で調べる、実験・観察・見学をする、作る・描く、歌う・演奏する・演ずるなどの実体験が軽視される傾向がある。手作りや実体験と、ICT やバーチャルの両方を大事にしたい。

脳の研究で有名な東京大学助教授の池谷裕二先生は 1 冊の本から多くのことを学んだこと（学んでいること）、作家の鈴木るりかさんは 1 行の文から素晴らしいことに気付かされることがあるという趣旨のことを、Y 新聞に寄稿されていて、同感しました。

皆さんのご家庭ではいかがでしょうか。日常生活も、遊びも、勉強も、趣味も、仕事もすべて、「手作り」と「ICT 活用」、「活字で学ぶ」と「デジタルで学ぶ」の両方を大事にしたいものです。「手作り」と「活字で学ぶ」が、「ICT 活用」と「デジタルで学ぶ」の基礎になっているのです。（活字だけで育った KH）

<備考> [成美教育文化会館]で検索すると、「かけはし」「メッセージ」「Q&A」「ほん本ブック」をはじめ「一字荘」「至楽荘」「成美教育文化会館の会場貸出」など様々な情報が閲覧できます。一度、検索してみてください。

# 活動紹介!

## 桑の実コーラス

桑の実コーラスは、結成してから43年にもなる市内では最も歴史のあるコーラスサークルです。20名程のメンバーが集い、童謡、ロシア民謡、馴染みのフォークソングなど、先生の指導の下に、幅広いジャンルの曲を皆さんで楽しく歌っています。

毎年、公民館で発表会をされるそうです。今年は、特別に5年に1度のコンサートを開かれるとのこと。常時、新メンバー募集中です



## 8月の催しから

○ 1(土)10時～  
笑顔が笑顔を連れてくる  
コンサート

○ 2(日)10時～  
ラウンドラントダンス


○ 5(水)10時～  
ロータリークラブ大会


○ 8(土)10時～  
ピア/発表会

○ 10(月)10時～  
ピア/発表会

★13(木)～17(月)は夏季休館  
日となります。

○ 22(土)10時～  
朗読会・こいのほり

○ 23(日)10時～  
武蔵野北高校OB会  
吹奏楽発表会 

○ 29(土)・30(日)10時～  
ヤマハピア/発表会 

## 会館事務室から



## 今月の話題 - 自然災害

温暖化の影響か、ここ数年、毎年のように大雨が降り、浸水被害に遭う地域が続出しています。被災地の方々には、心よりお見舞い申し上げます。

水害の危険度が極めて高い地域にもかかわらず、そこに人が住み続けるには、それなりの理由があります。移転のために多額の費用と努力を払い、長年住み慣れ、安定した生活を営んできた土地を離れるとなれば、安全のためとはいえ、当事者には想像を超える葛藤があるに違いありません。

これまで国は、「防災集団移転促進事業」等によって、様々な補助を前提に、危険度の高い地域からの移住を勧めてきました。いくつかの実績を重ねてきましたが、移転先の確保や新たな就業、住民の合意など様々な問題を抱えています。

近年の気象現象は明らかに異常です。危険度の高い地域を割り増しして想定し、被害を防いでいかねばなりません。但し、自然と対峙して戦うことは負担が大きすぎます。温暖化防止も含めて、自然と上手に付き合う術を皆が身につけて、被害を最小限に食い止めていく必要があります。

